

今月のコラム

第9回 震災支援活動報告

有限会社 緑花技研 藤田昌志



私達ガーデンを考える会が東日本大震災地域の小学校へ支援活動を始めて、4年もの年月が経過いたしました。支援物資、支援金、現地でのボランティアなど会員皆様方のご協力により、ここまで続けることが出来たのだと痛感しております。小学校の児童につきましては、東日本大震災を鮮明に覚えているのは高学年の子のみとなり、低学年はよくわからないけれど何か恐ろしいことが起きたのだと感じている子が多いようです。そのように感じている子が増えてきたためか、高学年の子達にも以前のような元気が無く沈んだ雰囲気は無く、子供達の笑い声が常に校舎に響いておりました。

今回は、気仙沼市の小学校13校、釜石市の小学校1校にペチュニアやサルビアなどの秋まで咲き続ける花苗や、トマトやサツマイモなどの野菜苗を提供させていただきました。気仙沼市の面瀬小学校、新城小学校、小原木小学校、九条小学校の4校については子供達と一緒に苗の植付け活動を行いました。新城小学校では、一年生の児童とサツマイモのさし芽による植付けを行い、一人1本から2本程度のサツマイモのツルを花壇の畝に挿していきました。植付けが終わった後は子供達からの質問を受け付けました。水遣りや収穫時期について質問する子もいれば、「なぜサツマイモは外が紫色で中が黄色なのですか」という難しい質問も飛び出しました。まだ一年生ではありますが、植物に対し疑問や興味を持ってくれるというのは嬉しい限りです。

気仙沼市内は、所々で公営住宅マンションの建設が始まり街も様変わりしてきております。防潮堤の工事も進み、一部の湾岸は既に防潮堤に囲われています。次回は第10回目の支援活動となります。6年間続けるという思いはありますが、ひとまずの節目となりますので、まだ参加しておられない方は是非とも支援活動に加わっていただきたいと思っております。

今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



面瀬小学校 6年生に植込みの説明



新城小学校 1年生とサツマイモの植付け

支援活動にご協賛いただきました会員様他 (敬称略)

アップルウェア(株)、キムラグリーン(株)、(株)JA東海グリーン、(株)シモジマ、セキスイデザインワークス(株)、(株)タカショー、(有)角田ナーセリー、豊明花き(株)、中島商事(株)、(株)ハイポネックスジャパン、ハクサンインターナショナル(株)、(株)フラワーオーケシジョンジャパン、(株)芳樹園、(株)牧野、(株)ユニゾン、(有)緑花技研、(株)レイ・ハウス、園芸業界被災地支援の会



ガーデンを考える会総会報告

「飛び越えよう業界の壁 創造しよう新しい消費」

NPO法人ガーデンを考える会(水野隆会長)の平成27年度通常総会を5月26日午後名古屋駅前ウインクあいちにおいて開催しました。

水野会長による開会の挨拶に続き中部地方環境事務所統括自然保護企画官・常富豊氏から来賓挨拶をいただきました。26年度事業報告・会計報告、並びに27年度事業計画・予算案が原案通り可決、新たな理事含め27年度の役員紹介が行われました。

次年度事業では、当会活動の長期的キャッチコピーが中島理事発案による「飛び越えよう業界の壁 創造しよう新しい消費」に決定したと発表され、会の活動をより活性化させていくため各活動に特化した委員会組織を公開しました。

総会記念セミナーでは、農林水産省花き産業施設園芸振興室・綱澤幹夫氏「花き振興法の施行と花き行政を取りまく状況」、名古屋銀行・北尾英樹氏/加藤卓也氏「補助金、交付金、農業ファンドなどの活用具体事例紹介」、リアルスタイル(株)代表取締役・鶴田浩氏「ライフスタイルショップと園芸業界のかかわり方と将来性」と3題の講演が行われ、今回初めてとなる東海地区での総会を盛況のうちに終了いたしました。



花と緑のおもてなしプロジェクト報告

昨年に引き続き第二回目の花壇作りに参加 天候に恵まれ無事植え込み完了

五輪プロジェクト委員長 藤崎幹士

「花と緑のおもてなしプロジェクト」は昨年に続き第二回目の開催となりました。このイベントは2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が多く立地する東京の臨海地域において、造園・種苗・園芸関連企業や団体が真夏に満開となる花壇を造り、その技術を蓄積して本大会開催に向け情報発信するとともに、多くの来園者に楽しんでいただき地域や業界の活性化を図る目的で行われております。

「ガーデンを考える会」は昨年と同じ場所でこのイベントに参加。伊藤商事様のコンテナへの植え込み、背面のネットを使った緑と花のカーテン、グランドカバーの構成は変わらずに6月13日に植え込みを行いました。

コンテナの苗は「角田ナーセリー」「ハクサンインターナショナル」「ハクサン」「レイハウス」様からのご提供いただき、昨年同様緑のカーテンは「フラワーオークションジャパン」様に手配いただきました「マンデビラ」で、昨年はサツマイモを植えたグランドカバーは「リュウキュウアサガオ」をメインに、一部「サトウキビ」を植え付けました。

又 コンテナの培養土は「花ごころ」様、肥料は「ハイポネックスジャパン」様のご提供を頂きました。

梅雨入りした東京の天気が心配されましたが、当日はなんと「曇り」という絶好のお天気で緑化技研・フラワーオークションジャパン・ハイポネックスジャパン・細野ライフデザイン・E&Gアカデミーの生徒様・セキスイデザインワークスのメンバーに加え、「マンデビラ」の生産者方が、愛知県から駆けつけていただき、やぶ蚊に悩まされ、蚊取り線香を炊きながら無事15時くらいに修了いたしました。

7月に入れば、「リュウキュウアサガオ」や「マンデビラ」も伸びて良い感じの花壇になっているはず。また他の区画もそれぞれの企業・団体が花壇を造っていますので、是非会場に足を運んでいただきたいと思います。





カエデ
kaede

ガーデンを考える会研修セミナー 新潟

カーブドッチワイナリー見学及び講演会

研修委員長 中河 元

(株)欧州ぶどう栽培研究所(以下カーブドッチ)は新潟市街地から西方向、日本海に沿ったなだらかな丘陵地にあります。国道402号を曲がってぶどう畑やイングリッシュガーデン、その向こうにのびやかに横たわる角田山。「こんなところに…」と初めて来られた方は驚かれるかもしれません。そこにカーブドッチは在ります。

「本物のワインを日本のお客様に届けたいとの思いから、このワイナリーは創業されました。

出資を募る為の、苗木のオーナー制度、新鮮なワインを新鮮な空気と共に味わっていただくための、レストラン、カフェ、また、手入れの行き届いた素晴らしいイングリッシュガーデンなどが在り。ワインのみならず、ワインを如何すれば楽しく美味しくいただけるのか考えられた空間の提供を25年に亘り実現されてこられました。

今回は、このカーブドッチ代表の掛川千恵子様から、「個性的であれ、物売るな、事を売れ〜本当の差別化とは」という題目で、ご講演頂きます。

日頃皆さんも他社と比べられ大切な商品を高く売ること、苦慮されていませんか、空間を提供することで、掛川社長はワインを味わうことの本当に楽しさを伝えられています。

ガーデン会では、カーブドッチその場所まで行き。見て、聞いて、感じて、飲んで、学んで頂く研修会を企画しました。遠方には成りませんが、ここでしか伝えられない雰囲気を感じてもらえればと考えております。

是非奮ってお越しください。よろしくお祈りします。



日程：平成 27 年 8 月 5 日(水)
12:30 新潟駅集合(往復マイクロバス移動)
13:30~15:40 見学・講演
15:50~17:00 懇親会
18:00 新潟駅解散



カーブドッチ代表
掛川千恵子様

場所：【カーブドッチワイナリー】<http://www.docci.com/>
新潟県新潟市西蒲区角田浜 1661 TEL：0256-77-2288

参加費：会員 5,000 円(セミナー受講料、懇親会費、新潟駅より往復交通費込み)

◆お申し込みはガーデンを考える会 HP から



「樹木見学ツアー」参加者募集

NPO法人ガーデンを考える会では7月31日(金)15:30~17:00、江東区シンボルプロムナード公園の新樹種など公園植栽を日本植木協会の講師と見学するツアーを、都市緑化機構・屋上開発研究会・日本植木協会と共催で行います。新しい樹種の使用が増える中、生産者の話を聞きながら実物を見て触れられる機会となっており、また、花の少ない夏季に長期間開花する植物も植わっているので、見るだけでも楽しめます。



参加費：1000円、ツアー後懇親会は費用別途。◆お申し込みはガーデンを考える会 HP から
お問合せ ガーデンを考える会関東ブロック f-masashi@r-giken.co.jp



カエデ
kaede



えんげい屋のひとりごと

神奈川の与太郎さんより

皆様、今年の春の園芸シーズンはどうでしたか。園芸の業界に携わっている方々には春と秋のシーズンが短くなったように感じると思います。

今年の日経上半期ヒット番付、東の横綱はインバウンド旋風で西の横綱は北陸新幹線でした。業界では十両以上も残念ですがいません。園芸では少し上向きな多肉植物、観葉植物、雑貨商品くらいでした。

利益の出る月が限られて、トップシーズンにどれだけ稼げるか、またオフシーズンにいかにかマイナスを少なくするかそのために何をしたらいいか。皆様も考え実行していると思います。いつも清潔できれいな売り場、こんな風に使うとあなただけのかわいい寄せ植えなどができます、とか、このように管理すると素晴らしいバラが咲きます、おいしい野菜が減農薬でできます。いろいろ提案したりすることも当たり前になりました。

お客様が園芸コーナーに何を望んでくるのか、何に困っているか聞いてみましょう。

高齢になり園芸芸作業ができないので庭木の剪定をしてほしい、使用した残土を引き取り等色々な要望があります。店舗でよくお客様から3-5回聞かれる商品を入れる価値があるといいます。有料サービスを行っていますと列記すると新しい仕事の目ができます。週末にいろいろなイベントや講習会など開催し、園芸ファン作り並びスタッフのレベルアップに繋がってくると確信しています。スタッフが一番大切な財産です。しかしながら閑散期には人数が減らさなければいけなく、トップシーズンの土日は特にレジにとられ満足な対応ができない時がありました。最近では負け惜しみではありませんが、程よい対応が出来てくると思う今日この頃です。しかし閑散期が増えてきているので何か対策を取っていきましょう。

また夏になって毎日天気予報で最近では熱中症に注意してくださいと呼びかけると出なくなります。、戸外でヒトスジシマ蚊に刺されデング熱に罹らないか心配ですが、それでも早朝、夕方にわか農園主になり野菜作りと花壇の手入れにいそむ方が多いと思います。

最後に次世代の園芸屋さんはどうなるのか大変楽しみである。乱文で失礼します。



会員紹介

株式会社 JOYアグリズ

弊社は、前身である太田油脂(株)と、製油事業を行う吉原製油(株)、(株)ホーネンコーポレーション(共に当時)の園芸部門が集まって創立され、今年で12年目になります。

現在、「自然的生活」というキャッチコピーを全面的に押し出し、季節の花々や野菜、果物などを生き活きと育て、自然の息吹を感じてもらえるような商品を皆さまに届けています。

また会社として、地球環境にやさしい資源循環型社会を応援しており、取り扱うアイテムの8割以上が有機系資材です。

一般家庭用有機肥料の分野ではトップに近いシェアを誇っておりこれからも業界を引っ張っていけるような企業を目指して参ります。

今後ともJOYアグリズを宜しくお願い申し上げます。



味の素(株)共同開発品
すく効く粒状油かす



株式会社 JOYアグリズ

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-2-17 第5サンビル5F

TEL03-3242-3600 FAX03-3242-3622

<http://www.joy-agris.com>